

## 学校施設の耐震化状況（平成25年4月1日現在）

### 【非木造施設】

（単位：棟）

設置者名	学校種別	建物区分	全校数 A	全棟数 B=C+D	昭和57年以前建築の棟数 C	昭和56年以前建築の棟数 D	耐震診断を実施した棟数 E	耐震基準を満たしている棟数 F	耐震化予定の棟数			耐震基準を満たしている棟数 J=F+G	耐震基準を満たしていない棟数	耐震化率 (昭和57年以降を含む) (C+J)/B	
									耐震化済 G	Is値0.3未満	Is値0.3以上0.5未満				Is値0.5以上0.7未満
										①	②				③
熊取町	小学校	校舎	5	27	12	15	15	6	9	0	0	0	15	0	100.0%
	小学校	屋体	5	5	1	4	4	2	2	0	0	0	4	0	100.0%
	中学校	校舎	3	14	8	6	6	2	4	0	0	0	6	0	100.0%
	中学校	屋体	6	6	4	2	2	1	1	0	0	0	2	0	100.0%
	小中学校計	校舎	8	41	20	21	21	8	13	0	0	0	21	0	100.0%
	小中学校計	屋体	11	11	5	6	6	3	3	0	0	0	6	0	100.0%

※熊取町立小・中学校を対象としたものです。（小学校5校、中学校3校）なお、中学校屋体については、1校につき体育館・武道館があります。

※対象建物は、非木造2階以上又は延床面積200㎡超のものとなっています。

※熊取町の耐震化率は上記資料のとおり、100%となります。平成24年度末で100%となりました。

※Is値とは

構造耐震の指標です。国土交通省の基準では、0.6未満の建物は「震度6強の地震で崩壊、倒壊する危険性がある」とされ、0.3未満なら「危険性が高い」とされます。地震の際、学校は避難場所になることから、文部科学省は学校の建物について、0.7以上のIs値を求めています。